

神津島の火山活動解説資料（平成 26 年 5 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2）

前浜南東（天上山の南西約 3 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、天上山山頂部に噴気は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

神津島付近を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 3 - ）

GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

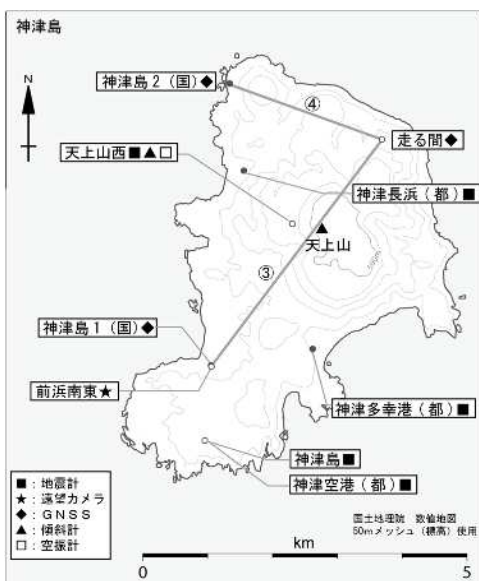


図 1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線 は図 3 の に対応しています。



図 2 神津島 天上山山頂部の状況

（5 月 18 日、前浜南東遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 6 月分）は平成 26 年 7 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

【計数基準の変遷】

A 型地震

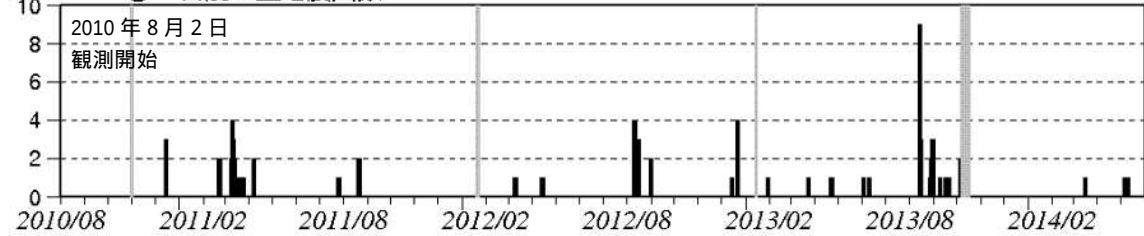
2010 年 10 月 1 日（観測開始）～ 天上山西から半径 5 km、深さ 15km 以内

BH 型地震

初期 2010 年 8 月 2 日～2013 年 9 月 30 日 天上山西振幅 $0.8\mu\text{m/s}$ 以上

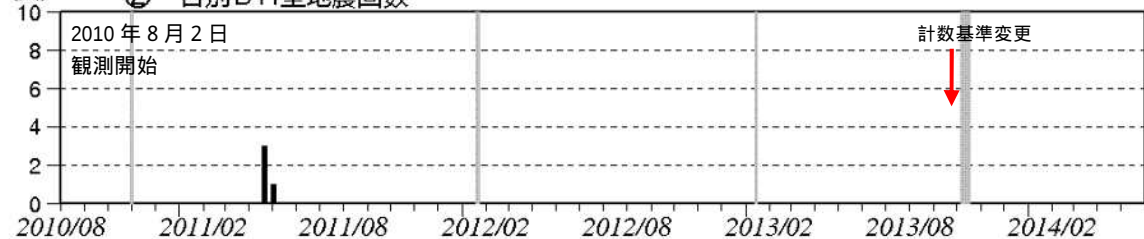
変更 2013 年 10 月 1 日～ 天上山西振幅 $4.0\mu\text{m/s}$ 以上

① 日別 A 型地震回数



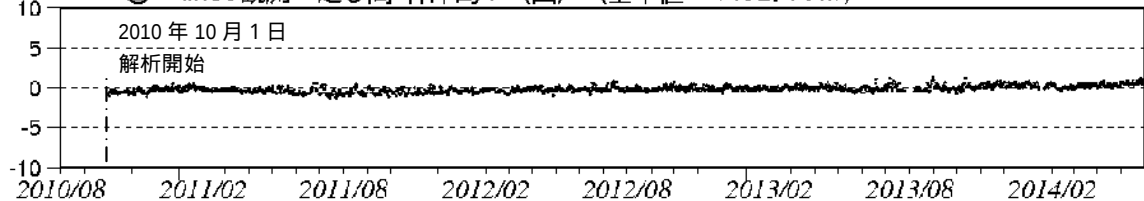
(年/月)

② 日別 BH 型地震回数



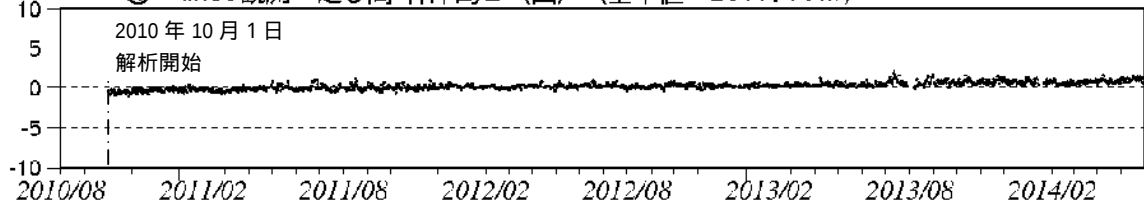
(年/月)

③ GNSS 観測 走る間-神津島 1 (国) (基準値 4402.70m)



(年/月)

④ GNSS 観測 走る間-神津島 2 (国) (基準値 2517.78m)



(年/月)

図 3 神津島 火山活動経過図(2010 年 8 月 2 日～2014 年 5 月 31 日)

神津島周辺の日別地震回数

・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

GNSS 連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

・ 図 1 の GNSS 基線 に対応しています。

・ グラフの空白部分は欠測を示します。

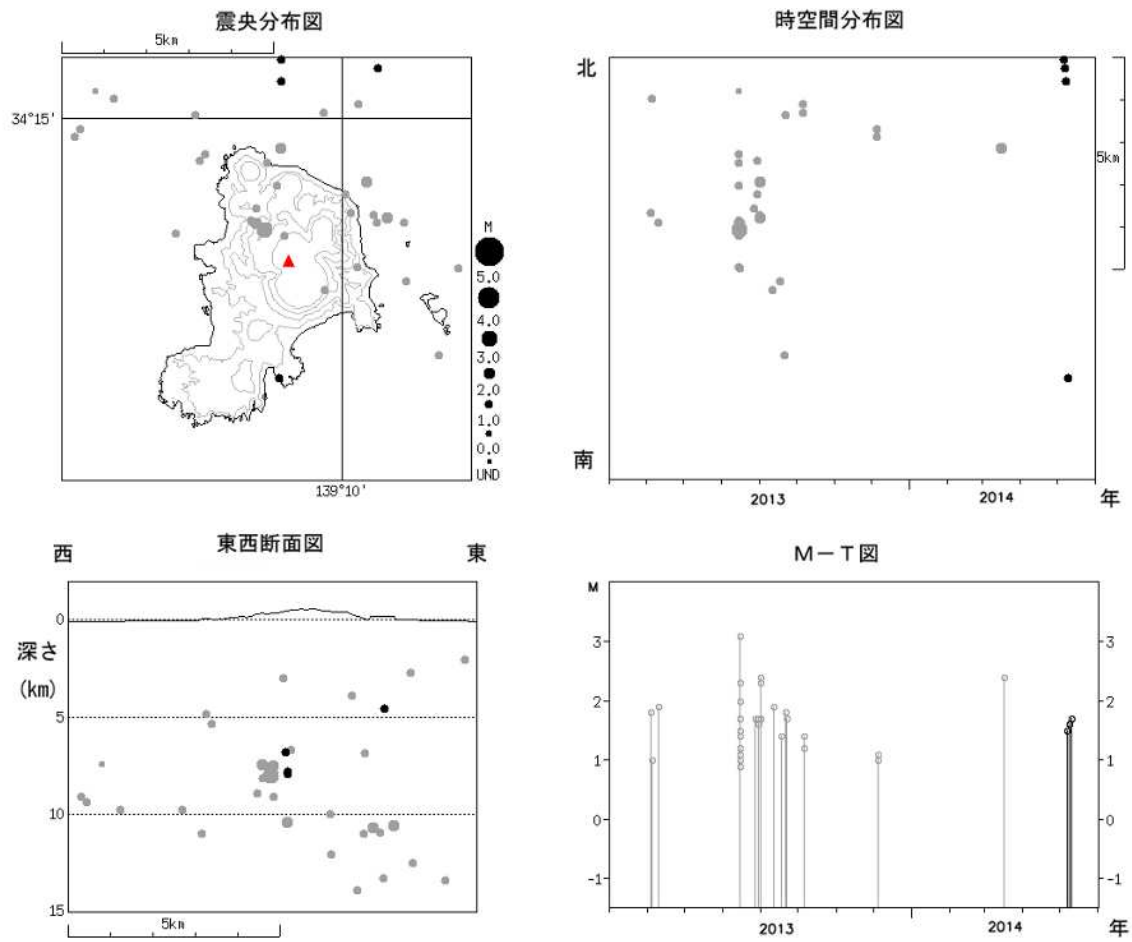


図 4 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2013 年 5 月 1 日～2014 年 5 月 31 日）

●：2013 年 5 月 1 日～2014 年 4 月 30 日 ●：2014 年 5 月 1 日～5 月 31 日

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。